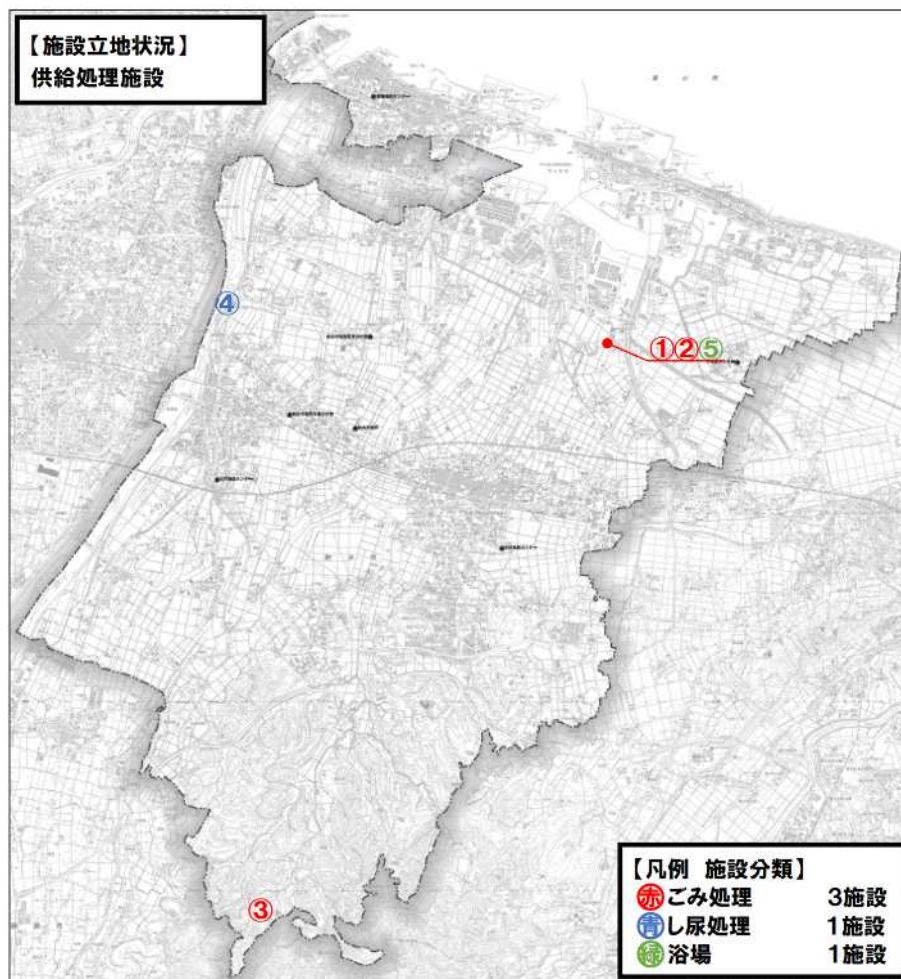


9 供給処理施設

大分類	小分類	対象施設
供給処理 (5)	ごみ処理(3)	クリーンピア射水、ミライクル館、野手埋立処分所
	し尿処理(1)	衛生センター
	浴場(1)	クリーンピア射水温浴施設

配置状況



施設の役割

・クリーンピア射水

クリーンピア射水は、日常生活から排出される廃棄物の処理を適切に行い、健康で快適な生活環境を確保するために設置している廃棄物焼却施設です。

本施設は、公害防止に万全な対策を講じ、また、廃棄物の焼却処理時に発生する余熱等を再利用するなど、生活環境の保全とともに循環型社会形成拠点としての役割を担っています。

・ミライクル館

ミライクル館は、廃棄物の資源化とリサイクルに関する体験及び学習を目的に設置している施設です。

プラザ棟では、リサイクル体験工房、環境学習コーナー等があり、市民が幅広く環境について学び、自由に利用できる環境を創出しています。

処理棟では、金属缶やペットボトル等、リサイクル物の再資源化を図っています。

大量消費、大量廃棄から脱却し、限りある資源を大切にするためのリサイクル拠点としての役割を担っています。

・野手埋立処分所

野手埋立処分所は、市内から発生する一般廃棄物及びその処理残渣を最終処分するために、昭和 57 年 3 月に開設した施設です。

本市が将来にわたって責任を持ってごみを適正に最終処分するための重要な施設です。

・衛生センター

衛生センターは、一般家庭から排出されるし尿や浄化槽汚泥等を適切に処理するための施設です。

現施設は、昭和 62 年 9 月から稼働し、1 日当たり 116 kℓの処理能力を有します。近年、下水道の整備に伴い全体の処理量は減少傾向にあり、この状況に対応するため、土日の運転を休止するなど経費縮減に努めています。

・クリーンピア射水温浴施設

平成 14 年度のクリーンピア射水の建設に際し、地元振興策として従業員用に設置する浴室を住民の利用にも供することを目的としてクリーンピア射水内に設置した施設です。現在も、年間延べ約 15,000 人の方々に利用されています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A : おおむね健全 B : やや劣化 C : 劣化 D : 著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		主な工事等(着工年度)
			特記事項	
1	クリーンピア射水	敷地・地盤	-	・ 基幹的設備改良工事(R1～R3)
		外部	-	
		屋上・屋根	-	
		内部	-	
2	ミライクル館	敷地・地盤	B ・ 路面案内表示が消えている。	・ 処理棟プラント機器点検工事(H18～H23) ・ 処理棟整備工事(H24～R2)
		外部	B ・ 外壁亀裂、外壁塗装の剥離	
		屋上・屋根	A	
		内部	B ・ 内部仕上げ材の剥離	
3	野手埋立処分所	敷地・地盤	B ・ へこみ他	・ 再生整備事業(H19～H21) ・ 浸出水処理施設定期整備工事(H24) ・ 法面災害復旧工事(H24) ・ 浸出水処理施設定期整備工事(H25) ・ 埋立地遮水シート張り工事(H25) ・ 浸出水処理施設汚泥濃縮装置 NO.3 蒸発缶設置工事(R1)
		外部	B ・ 通路等へこみ他	
		屋上・屋根	A	
		内部	A	
4	衛生センター	敷地・地盤	C ・ アスファルトひび割れ、舗装・地盤沈下	
		外部	C ・ 外壁亀裂、外壁塗装の剥離	
		屋上・屋根	C ・ 屋上仕上げ材、目地劣化	
		内部	C 【内装】 ・ 床、内壁に亀裂	
B 【設備】 ・ 配管腐食				
5	クリーンピア射水温浴施設	敷地・地盤	-	基幹的設備改良工事(R1～R3)
		外部	-	
		屋上・屋根	-	
		内部	-	

クリーンピア射水基幹的設備改良工事実施中(令和元年度～3年度)

施設の課題と今後の方向性

・クリーンピア射水

クリーンピア射水は、平成 29 年度に施設周辺 5 自治会と「クリーンピア射水の施設稼働期間延長に係る覚書」を締結し、現施設を令和 18 年度末まで稼働延長することとしています。それに伴い、令和元年度から令和 3 年度にかけて、クリーンピア射水基幹的設備改良工事を実施しており、長寿命化を図るとともに、安全かつ安定したごみ処理の推進及び省エネや二酸化炭素の削減等、環境への配慮も図ることとしています。将来計画としては、広域化も視野に入れつつ、施設整備の方向性を検討します。

・ミライクル館

処理棟は平成 14 年度に、プラザ棟は平成 23 年度に竣工し、それぞれ建築後 19 年、10 年が経過していますが、外壁の亀裂、外壁塗装の剥離が見られるものの、大規模な改修が必要な老朽箇所は見受けられません。

クリーンピア射水が令和 18 年度末まで稼働延長したことから、本市における資源循環型社会形成推進の拠点である本施設も同期間開設することを想定し、計画的に点検、定期整備を実施するなど適切な管理を行っていきます。

また、リサイクルの重要性をはじめ、環境に関する様々な情報を発信するため、NPO や市民団体又は市民協働事業での活用を検討するなど、更に幅広く利用促進に努めます。

・野手埋立処分所

昭和 57 年 3 月に供用を開始した野手埋立処分所は、老朽化が進んでいたことから、平成 21 年度に埋立容量の増量及び浸出水処理施設の更新など再生整備工事を実施し、より安全性、耐久性の高い最終処分場として長寿命化を図りました。

令和 9 年度には埋立完了を見込むため、令和 4 年度に新埋立所の整備計画を策定し、令和 10 年度から新埋立所の供用を開始する計画としています。

・衛生センター

衛生センターは、供用を開始した昭和 62 年度から 30 年以上稼働しており、その間、建物の躯体工事等を行っておらず、施設内配管・外壁・各処理水槽等に経年劣化による腐食や水漏れ等が見られます。また、施設内の設備機器においても、そのほとんどが耐用年数を超えており、部品調達も困難になってきています。

こうしたことから、令和 5 年度及び令和 6 年度において、今後のし尿、浄化槽汚泥等の搬入量や下水道の接続状況等を踏まえ、規模を縮小し、施設の長寿命化を図る計画としています。

- ・クリーンピア射水温浴施設

平成 29 年度に施設周辺 5 自治会と「クリーンピア射水の稼働期間延長に係る覚書」を締結し、クリーンピア射水を令和 18 年度末まで稼働延長することに伴い、地元振興策として設置した本施設も稼働延長期間と同期間設置することとし、令和元年度から令和 3 年度にかけて、クリーンピア射水基幹的設備改良工事に付随して施設の長寿命化を図っています。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） R C（鉄筋コンクリート造） S R C（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したものの
- ・その他：令和元年度実績

	施設名	施設概要				実施時期 年度	短期				
							R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
1	クリーンピア 射水	建築年度	平成14（2002）	延利用者数	—	経過年数		築後20年			
		改修年度	令和3（2021）	維持管理費	724,012千円	改修後年数					
		経過年数	19	維持管理費/ 延利用者数	—	取組内容	基幹的設備改良 (R1~R3)				
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
環境課	延床面積	11,124.49㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	970百万円					
2	ミライクル館	建築年度 (処理棟)	平成14（2002）	延利用者数	—	経過年数 (処理棟)		築後20年			
		建築年度 (プラザ棟)	平成23（2011）	維持管理費	146,144千円	経過年数 (プラザ棟)	築後10年				
		経過年数	19	維持管理費/ 延利用者数	—	取組内容					
	構造/ 耐用年数	S/31年 S/38年	稼働率	—							
環境課	延床面積	3,565.77㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
3	野手埋立 処分所	建築年度	平成21（2009）	延利用者数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	98,536千円	取組内容	整備方針 決定	計画策定	設計・環境影響評価		
		経過年数	12	維持管理費/ 延利用者数	—						
	構造/ 耐用年数	RC/38年	稼働率	—							
環境課	延床面積	873.16㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費						
4	衛生センター	建築年度	昭和62（1987）	延利用者数	—	経過年数					
		改修年度	—	維持管理費	87,330千円	取組内容	長寿命化 総合計画 策定	環境影響 評価・発注 仕様書作成	規模縮小化・長寿命化		
		経過年数	34	維持管理費/ 延利用者数	—						
	構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	—							
環境課	延床面積	3,698.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費			700百万円			
5	クリーンピア 射水 温浴施設	建築年度	平成14（2002）	延利用者数	15,081人	経過年数		築後20年			
		改修年度	令和3（2021）	維持管理費	—	改修後年数					
		経過年数	19	維持管理費/ 延利用者数	—	取組内容	基幹的設備改良 (R1~R3)				
	構造/ 耐用年数	S/31年	稼働率	—							
環境課	延床面積	210.62㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費	1に含む					

注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
						築後30年	耐用年数	
					改修後10年			
					広域化も視野に入れた 施設整備の方向性を検討			
						築後30年	耐用年数	
					築後20年			
			築後20年					埋立容量は50,000m ³ 規模（11年間の供用）を想定
整備								
1,000百万円								
	築後40年							
						築後30年	耐用年数	
					改修後10年			

